



科学と平和について講演した、ノーベル物理学賞の益川さん

科学技術平和利用を

ノーベル賞 益川さん札幌で講演

2008年にノーベル物理学賞を受賞した、名古屋大素粒子宇宙起源研究機構長の益川敏英さんが14日、「科学と平和」をテーマにした講演会を札幌市中央区の共済ホールで行った。益川さんは科学技術を平和利用することの大切さを強調。約750人の来場者が耳を傾けた。

(藤本卓郎)

医療九条の会・北海20世紀は物理学が目覚められた歴史も紹介。益川さんは「科学の発展は、人類にとってより多くの自由を準備してくれるが、それをどう使うのかは人間側の問題」と述べ、利用の大切さを訴えた。

道など護憲運動をして、代だったと説明。一方、電磁波の特性を発生させた研究が第2次世界大戦でレーダー開発に應用され、軍事利用の問題」と述べ、利用の大切さを訴えた。